

線形代数学（講義・演義）B(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

演義担当教員によって平常点（演習への参加状況，課題への取組状況など）から得られた演義成績（30点満点）をもとに，講義担当教員が期末試験を用いて，演義成績以上，100点以下の範囲で評価する。

教員によっては演義以外の平常点（レポート、中間試験などによるもの）を参考にすることもある。詳細は授業中に説明する。

本科目の評価が不合格であった履修者のうち，一定の基準以上の成績の者は再試験を受験できる。再試験の概要は KULASIS で履修者に通知する。なお再試験は3月末に実施予定である。

[教科書]

担当教員毎に指示する。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習，復習とともに，演習問題を積極的に解いてみる必要がある。

[その他（オフィスアワー等）]

同一クラスにおいて前期開講の線形代数学（講義・演義）Aとの連続した履修を推奨する。また微分積分学（講義・演義）Bを並行して受講することが望ましい。